

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年7月29日

上場会社名 イチカワ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3513 URL <http://www.ik-felt.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牛尾 雅孝
 問合せ先責任者(役職名) 総務部長 (氏名) 山崎 敦 (TEL) 03-3816-1111
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,072	10.7	53	238.5	257	118.1	202	209.1
2022年3月期第1四半期	2,775	0.1	15	△51.5	118	13.9	65	28.9

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 274百万円(—%) 2022年3月期第1四半期 △11百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	44.29	—
2022年3月期第1四半期	14.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	25,769	18,902	73.3
2022年3月期	25,732	18,768	72.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 18,882百万円 2022年3月期 18,751百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,060	3.4	70	△68.0	120	△65.4	110	△59.4	24.03
通期	12,600	2.0	440	△17.1	500	△34.1	320	△38.9	69.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	4,967,151株	2022年3月期	4,967,151株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	389,003株	2022年3月期	388,995株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	4,578,154株	2022年3月期1Q	4,575,733株

※期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)にかかる信託口が保有する当社株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐ中で政府による経済再生に向けた各種政策の効果や海外経済の改善もあり回復傾向が見られるものの、経済回復に伴う原油の需要増及びウクライナ情勢等の不透明感による原油価格高騰が見られるなど、一進一退を繰り返す状況となっております。

当社グループの主要取引先であります紙パルプ業界の動向は、国内につきましては板紙及び衛生用紙等の需要は横ばいで推移しておりますが、新聞用紙及び印刷情報用紙の需要は、コロナウイルス禍以前の水準までは回復に至らず減少傾向が続いております。海外につきましては、通販市場の拡大に伴う板紙及び衛生用紙の需要が旺盛な中国・アジア地域に期待があるものの、新聞用紙及び印刷情報用紙は国内と同様に需要の減少傾向が続くと見込まれる等、不安定な状況が継続しております。これを受け、当社は世界的な紙の需要減を見込み、フェルトのコスト競争力を強化するべく生産体制の最適化を図ってまいりました。また、品質面では衛生用紙向けベルトが世界的に評価され、拡販につなげるべく積極的な受注活動を行ってまいりました。

このような状況の中、当社グループの連結売上高は、為替相場の円安傾向が続いたこともあり3,072百万円（前年同期比10.7%増）となりました。損益の状況につきましては、売上高増加の一方で、原材料価格や原燃料価格高騰の影響による売上原価の増加、海上輸送の混乱や原油価格高騰による運送コストの増加により、連結営業利益は53百万円（前年同期比238.5%増）、為替差益を計上したことにより、連結経常利益は257百万円（前年同期比118.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は202百万円（前年同期比209.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

<抄紙用具関連事業>

(日本)

内需につきましては、厳しい市場環境が続く中、懸命な受注活動を推進したことにより、抄紙用フェルト及び抄紙用ベルトの販売数量は増加いたしました。また、輸出につきましては、抄紙用フェルトの販売数量が増加したことにより、売上高は1,993百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

(北米)

新型コロナウイルス感染症の影響による一部顧客の生産調整が一巡し抄紙用フェルト及び抄紙用ベルトの販売数量が増加いたしました。この結果、売上高は455百万円（前年同期比75.6%増）となりました。

(欧州)

新型コロナウイルス対策に伴う販売製品の選択と集中を行ったため抄紙用フェルトの販売数量が減少いたしました。抄紙用ベルトは衛生用紙向けに受注活動を推進したことで販売数量が増加いたしました。この結果、売上高は373百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

(中国)

新型コロナウイルス対策に伴う販売製品の選択と集中を行ったため抄紙用フェルトの販売数量が減少いたしました。抄紙用ベルトは一部顧客の操業低下により販売数量が減少いたしました。この結果、売上高は43百万円（前年同期比67.2%減）となりました。

(タイ)

新型コロナウイルス感染症の影響による一部顧客の生産調整が一巡し抄紙用フェルトの販売数量が増加いたしました。この結果、売上高は77百万円（前年同期比43.2%増）となりました。

<工業用事業>

内需は横ばいで推移しましたが、輸出が減少したことにより、売上高は128百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ36百万円増加し、25,769百万円となりました。これは主として現金及び預金が85百万円、原材料及び貯蔵品が120百万円増加した一方、投資有価証券が80百万円減少したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ97百万円減少し、6,867百万円となりました。これは主として流動負債その他が248百万円、支払手形及び買掛金が91百万円増加した一方、未払法人税等が201百万円、賞与引当金が197百万円減少したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ134百万円増加し、18,902百万円となりました。これは主として為替換算調整勘定が129百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が58百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,452,114	4,537,414
受取手形及び売掛金	4,413,203	4,412,151
商品及び製品	1,504,472	1,596,335
仕掛品	1,131,879	1,050,680
原材料及び貯蔵品	597,461	718,149
その他	117,126	164,801
貸倒引当金	△2,582	△2,595
流動資産合計	12,213,675	12,476,938
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,296,210	4,203,649
機械装置及び運搬具（純額）	3,020,415	2,896,511
リース資産（純額）	81,229	76,871
その他（純額）	2,257,876	2,348,642
有形固定資産合計	9,655,732	9,525,674
無形固定資産	88,085	77,255
投資その他の資産		
投資有価証券	3,699,995	3,619,641
繰延税金資産	31,854	26,530
その他	97,001	97,284
貸倒引当金	△53,518	△53,518
投資その他の資産合計	3,775,332	3,689,938
固定資産合計	13,519,150	13,292,869
資産合計	25,732,826	25,769,808

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	376,826	468,518
短期借入金	860,000	860,000
リース債務	61,575	59,258
未払法人税等	269,738	68,446
賞与引当金	405,902	208,653
役員賞与引当金	20,000	—
その他	925,772	1,174,510
流動負債合計	2,919,815	2,839,386
固定負債		
リース債務	57,498	50,848
繰延税金負債	591,388	590,384
役員株式給付引当金	83,071	90,521
退職給付に係る負債	3,229,558	3,209,576
その他	83,366	86,426
固定負債合計	4,044,882	4,027,756
負債合計	6,964,697	6,867,143
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,594,803	3,594,803
資本剰余金	2,333,201	2,333,201
利益剰余金	12,040,180	12,102,954
自己株式	△647,760	△647,771
株主資本合計	17,320,425	17,383,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,329,592	1,270,930
為替換算調整勘定	88,579	218,328
退職給付に係る調整累計額	12,978	9,715
その他の包括利益累計額合計	1,431,150	1,498,974
非支配株主持分	16,552	20,501
純資産合計	18,768,128	18,902,664
負債純資産合計	25,732,826	25,769,808

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	2,775,817	3,072,782
売上原価	1,790,782	1,885,367
売上総利益	985,034	1,187,414
販売費及び一般管理費	969,291	1,134,126
営業利益	15,742	53,287
営業外収益		
受取利息	125	131
受取配当金	45,987	53,437
為替差益	4,498	111,080
雇用調整助成金	35,955	14,957
その他	34,073	36,073
営業外収益合計	120,640	215,680
営業外費用		
支払利息	2,058	1,860
賃貸費用	3,327	3,156
訴訟関連費用	2,019	1,443
その他	10,852	4,930
営業外費用合計	18,257	11,390
経常利益	118,125	257,577
税金等調整前四半期純利益	118,125	257,577
法人税、住民税及び事業税	13,136	27,660
法人税等調整額	39,029	26,756
法人税等合計	52,166	54,417
四半期純利益	65,959	203,160
非支配株主に帰属する四半期純利益	351	394
親会社株主に帰属する四半期純利益	65,607	202,766

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	65,959	203,160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△84,269	△58,662
為替換算調整勘定	9,099	133,316
退職給付に係る調整額	△2,082	△3,262
その他の包括利益合計	△77,252	71,391
四半期包括利益	△11,293	274,552
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△10,940	270,590
非支配株主に係る四半期包括利益	△353	3,961

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	抄紙用具関連事業					工業用 事業	計		
	日本	北米	欧州	中国	タイ				
売上高									
外部顧客への 売上高	1,846,820	259,391	339,035	133,516	54,139	142,914	2,775,817	—	2,775,817
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	528,856	—	—	76,073	5,250	3,095	613,275	△613,275	—
計	2,375,676	259,391	339,035	209,589	59,390	146,009	3,389,092	△613,275	2,775,817
セグメント利益 又は損失(△)	265,423	△4,415	8,719	23,395	6,501	25,803	325,427	△309,685	15,742

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△309,685千円には、セグメント間消去△9,296千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△367,507千円、棚卸資産の調整額58,426千円、為替レート差額6,819千円、貸倒引当金の修正等1,873千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3 地域ごとの情報

売上高

(単位：千円)

日本	北米	欧州	中国	その他の地域	合計
1,350,535	202,708	285,652	495,782	441,137	2,775,817

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	抄紙用具関連事業					工業用 事業	計		
	日本	北米	欧州	中国	タイ				
売上高									
外部顧客への 売上高	1,993,781	455,540	373,674	43,829	77,532	128,422	3,072,782	—	3,072,782
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	621,369	—	—	84,667	18,168	1,745	725,950	△725,950	—
計	2,615,150	455,540	373,674	128,497	95,701	130,167	3,798,732	△725,950	3,072,782
セグメント利益	409,631	30,966	7,686	10,625	20,278	24,817	504,006	△450,718	53,287

(注) 1 セグメント利益の調整額△450,718千円には、セグメント間消去1,975千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△420,917千円、棚卸資産の調整額△75,801千円、為替レート差額42,840千円、貸倒引当金の修正等1,184千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3 地域ごとの情報

売上高

(単位：千円)

日本	北米	欧州	中国	その他の地域	合計
1,489,032	357,646	287,276	331,250	607,576	3,072,782

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。